

ささゆり

発行
第13号
平成30年5月1日
公益財団法人 恵那市文化振興会
〒509-7205
恵那市長島町中野414番地1
TEL 26-3524 FAX 25-5151

平成30年度

恵那文化劇場

恵那文化センター、明智かえでホールで、多彩な事業を計画しますので是非ご来場ください。

「夏の雲は忘れない」 女優たちによる朗読劇



7月4日(水)

1945年 ヒロシマ・ナガサキ あの日のことを
多くの人に伝えたい。
公演には長島小学校の児童も参加して行われます。

開場18:00 開演18:30 入場無料(要整理券)
取扱い場所：恵那文化センター・市民会館
恵那市内各コミュニティセンター

三世代クラシックコンサート 「音楽の絵本」プレミアム



9月9日(日) 開場13:30 開演14:00

昨年大好評いただいた「音楽の絵本」が
一段とパワーアップして今年も恵那にやってくる。
金管五重奏「ズーラシアンブラス」。そして弦楽四重奏の
「弦うさぎ」に、フルートとハープのデュオ「ことふえパピ
ヨン」も加わります。

三浦祐太朗 アコースティック ワンマンライブ in恵那

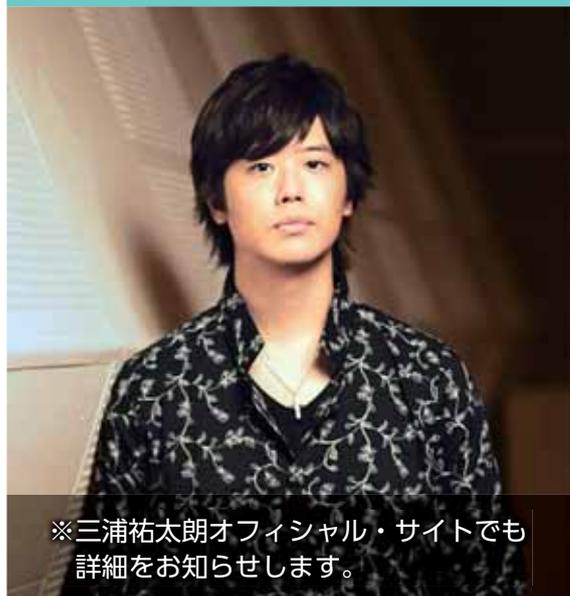
11月25日(日) 開場16:00
開演16:30

恵那文化センター 大ホール

中国大黄河雑技団 中国獅子舞・中国雑技

11月11日(日) 開場13:30
開演14:00

明智かえでホール



※三浦祐太朗オフィシャル・サイトでも
詳細をお知らせします。

※上記は計画であり出演者の都合により変更する場合がありますのでご了承ください。公演詳細は決定次第、順次お知らせしてまいります。

部会の活動

昨年度も各部会の事業は、市民の方々を始め会員が一体となり盛大に開催されました。恵那市文化祭の運営のほか、各部会独自で次のような活動を行っています。

芸能部▷みのじのみのり祭に郷土芸能「道行」参加、万年青苑や恵光園等施設訪問による芸能の披露。**教養部**▷茶花道早春フェスタの開催。**文芸部**▷合同誌「櫻」の発行。**美術工芸部**▷会員作品展、祝賀成人式色紙展の開催。**生活文化部**▷サークル単位の作品展示や発表と交流活動。**伝統文化部**▷地域ごとの伝承活動や公演活動と伝統芸能大会の運営と出演。**郷土史研究部**▷郷土の偉人や地域の歴史、町並み研究など。

ここではその活動の一部を紹介します。各部本年度も文化振興に努めてまいります。

美術工芸部

美術工芸部長 西尾 康久

「自然も人もみんな美を愛す」

今年の干支は戌成いぬ年です。瑞浪市陶町にある世界一ジャンボな狛犬さんから元氣とパワーを貰い、日新生、日日創造を心に秘めて、お互いの分野に於いて向う一年間精進を重ねて参りたいと思います。

美術工芸部も恵那市の文化、芸術の向上と地域社会に貢献を合言葉に、会員一同頑張っていきたいと思っています。皆様のご理解とご協力をお願い致します。



○第三十四回 祝賀成人式 色紙展

期日 一月五日(金)～八日(月)
会場 恵那文化センター展示室、ロビー



次の世代を担う新成人、今年は五百九十四名の晴れの船出を祝福し、絵画・書・写真で激励。「高志」「父母」「兄妹」などの意を込めた作品を展示、又、地元名士の先生にお願いし、色紙に座右の銘を揮毫賜り会場に花を添えて頂きました。次回も継続は力なり、この灯を消さないように前進を重ねていきたいものです。

●第二十三回 美術工芸部 会員作品展・特別展

期日 平成三十年六月二十九日(金)～七月一日(日)
会場 恵那文化センター

各サークルが一年間の成果を発表する美術の祭典です。洋画・日本画・書道・写真・竹細工等、それぞれの持味を生かした力作が鑑賞者の目、心を癒してくれる事と思います。一人でも多くの市民の方に会場に足を運んでいただき、集い・交流の輪を広げていきたいと思ひます。会員一同お待ちしております。

芸能部

芸能部長 奥山 完治

「感動というもの」

今年、平昌五輪が開催され、日本選手団は冬季五輪史上最多のメダルを獲得するという素晴らしい大会になりました。毎日のように、選手たちの華々しい活躍が報道され、またその選手たちを支えるたくさんの人達との絆や物語も、私たちにたくさん感動をくれました。挫折から這い上がった選手、プレッシャーをはねのけて見事に期待に応えた選手。その結果メダルを獲得することが出来た喜びは、どれほどのことかと思ひます。しかし、残念ながらメダルに届かなかった選手もいます。悪条件のため実力を出し切ることが出来なかつたり、自己最高の出来であったとしても競争であるがゆえにその上をゆく選手に及ばなかつたり、緊張やプレッシャーで力を出し切れなかつた選手もいたことと思ひます。しかし、日本を代表しそこに至るまでの努力の毎日には、やはりそれぞれの物語があつて、その報道にもまた深く心をうたれました。

私達芸能部会員を取り巻く環境は大きく変化しています。常により良いものを求めて、日々努力を重ねてはいますが、文化振興の道は急には上達しません。しかし、各々のサークル(民謡、民謡、日舞、箏、三絃、尺八、詩吟、ダンス、音楽等)は日々の練習の成果を積み重ね、毎年その芸を向上させて色々なるところで発表の場を設けています。

第61回目の恵那市文化祭ステージ発表が11月末に開催される予定です。また、7月、8月には市内各施設での夏祭りも行われます。9月には恵那市の秋祭り、みのじのみのり祭りがあり今年もまた新しい一年が始まったところです。五輪には及びませんが、私たちが日々小さな感動を重ね生きがいと思ひたいと思ひます。

(公財)恵那市文化振興会芸能部では、年間を通じて皆様方のご入会をお待ちしております。



ステージ発表



合唱フェスティバル

伝統文化部

伝統文化部長
堀 新一

教養部

教養部長
林 正人

文芸部

文芸部長
赤尾 袈夫

「守ろう 繋ごう 恵那の伝統芸能」

○第二十八回恵那市伝統芸能大会開催

二月二十五日(日)に恵那文化センターで第二十八回恵那市伝統芸能大会を開催しました。今回のテーマは「守ろう 繋ごう 恵那の伝統芸能」として、地歌舞伎をはじめ、文楽、太鼓、お囃子、万歳、伝統舞踊などの披露と、伝統芸能大会ではもうおなじみとなりました市内名士により「お目見得だんまり」の上演により、恵那市に伝わる伝統芸能のすばらしさを感じていただけたものと思っております。また、今回は伊賀忍法のパフォーマンズを行い、伝統芸能の一つとして今大会を盛り上げていただきました。会場の内外では、市内各地に伝わる自慢の味を販売する物産展や華道展示、呈茶コーナーも同時に開催し、大会を盛り上げていただきました。

今後も、伝統文化部が地域の伝統芸能の保存伝承活動の取りまとめ役となり、活動の中心を担えるよう更なる精進を重ねてまいります。



伝統芸能部 中山太鼓保存会



伝統芸能部 飯地五毛座歌舞伎保存会

○恵那市文化祭華道展

平成二十九年十一月十一日(土)・十二日(日) 来場者数五百名

○恵那市文化祭市民茶会

平成二十九年十一月十二日(日) 来場者数二百二十名

○第十六回諸流派花道早春フェスタ

平成三十年二月二十四日(土)・二十五日(日) 【日本の伝統文化である茶道・華道を学ぶ教養部一同が、流派を越えて実施】

参加団体
華道Ⅱ 千秋流、小原流、池坊、龍生派、遠州

真琉、松月堂古流の六流派
茶道Ⅱ 恵那市茶道連盟(表千家、裏千家)

○第二十八回伝統芸能大会 呈茶・華道展協力

平成三十年二月二十五日(日) (会場は全て恵那文化センター)

次年度もこの四事業を軸に、更に充実した内容で展開していく所存です。是非ご高覧の上、ご指導をお願いいたします。



華道展



茶席

「日々の暮らしをみつめて…」

世の中の速い流れに流されっぱなしである。平昌五輪(ピョンチャンオリンピック)がしばらくの間は話題になった。

「平昌」は、「江陵」はどう呼ぶのか、韓国のどの辺りに位置しているのかも分からぬままに大会は過ぎた。マスコミで取り扱われる競技はごくごく一部の種目と金銀銅のメダリストに集中する。もっと違った視点で見るオリンピックも好い。

俳句や短歌はその人その人のものの見方、捉え方、感じ方が表現されている。それぞれの一句や一首に作者は、その人ならではの言葉を探しつづけてまとめる努力をする。大会では大会賞など入賞作品が決められるが、上手下手を競うのがすべてではない。穏やかに物事を見聞きしそれを何とか作品に出来たらと学びあうのが嬉しいこと。恵那の自然の中で、日々の暮らしを見つめる仲間がいることは仕合せの一つだと思う。



俳句大会



短歌大会

第六十回 惠那市短歌大会入賞作品 小塩 卓哉 選

《一般の部》

- 天 なんとなく今朝吹く風は秋の風語りかけつつ盆の仏前 惠那市 勝 澄子
- 地 綿飴を作る手つきで蜘蛛の巣を取り払いおり広告丸め 惠那市 大井 慶子
- 人 唐突に始まる母の一代記消せない熾火また立ち起こる 惠那市 原 まゆみ
- 第六十回記念賞 父の葬終えて登校せしわれを林先生抱きしめくれぬ 中津川市 寺社下美代子

入 選

- 折紙を孫の手解き受けながらごつき指から鶴が羽ばたく 中津川市 長瀬 功
- 失敗をよくよくしても始まらぬばしつと傘さしパン買ひに出る 岐阜市 大栗紀美子
- 齡増すほどに『学生』ふえゆきて今年新たな賀状五つ六つ 惠那市 山本 修身
- 車避け一列になりし登校の自転車列やがて膨らむ 惠那市 木村知代子
- 刈り取りを待つ稲田より白鷺が飛び立ち雲の白に溶け行く 惠那市 佐々木三子
- わが足に身をすりつけてついでくる甘え上手な母の飼猫 惠那市 後藤井公子
- 問いかけに答うる時のみわれを見るスマホ操る高二の孫は 惠那市 荒田 陽子
- 核兵器禁止条約批准せず被爆の国の総理の付度 惠那市 山田 茂宣
- 山を越え四本の傘届けむと教室覗きし父を想えり 惠那市 安江利栄子
- 柔らかな甘みが好きな吾が祖母は笑みて土産の「栗山」を食む 小牧市 若林 芳樹

《学生の部》

入 選

- なつやすみプールやまつりわいわいと家族だらんあそびつくした 山岡小学校 玉乃井悠馬
- 夏の夜ドアをあければうっとりだほんのり光るほたるのあかり 山岡小学校 小川 結々
- 青い空遠くに白い入道雲もくもくしてらもうすぐ雨かな 山岡小学校 池田 花凜
- 犬の声たまに帰るとなつかしくいつも聞いてりや耳ざわりかな 明智中学校 井道 涼太
- 二期期がもう始まるよさびしいな夏の思い出よみがえるかな 長島小学校 安田 遥紀
- かみなりのおととひかりの対けつだ光ってなるので光の勝ちだね 長島小学校 山口 旺甫
- 友だちをもっとたくさん作りたいささえてあげるささえてくれる 長島小学校 山口 結子
- 弟がえんえんなくとあめがふるそらの神をももらいなきかな 長島小学校 岩城 祐典
- せみの声暗い土からめざめたよ明るい空へなりひびいてる 長島小学校 渡辺 凱士
- たのしみは冬から春へ季節変わり桜の花がまいおりる時 中野方小学校 柘植かるら
- 太鼓打ち地域に染まる音の色が紅葉の色を真つ赤に変える 串原中学校 片桐 雅彰

第六十回 惠那市俳句大会入賞作品 武知 徹 選

第六十回記念大会賞

- ハンモック背中の下を通る風 惠那市明智町 大島 晴恵

大会賞

- 高らかに勝者の校歌雲の峰 惠那市大井町 石田 興

特 選

- 通し土間南部風鈴鳴り止まず 惠那市明智町 森部 康宏
- 声あらば賑やかならむ蟻の列 惠那市岩村町 杉本てる子
- 盲縞かかりし機やつづれさせ 惠那市上矢作町 川上 越子
- 老鶯や斜面畑へ喘ぎつつ 中津川市付知町 牧野美千子
- 夕河鹿つづきは明日と歛洗ふ 惠那市笠置町 林 なつ子

秀 逸

- 走り梅雨僧も来てゐる深山の湯 惠那市大井町 市川つね子
- 夏の雨観音堂の縁ぬらす 多治見市幸町 倉内ゆり子
- 何となくシヨパンを聴けば流れ星 惠那市長島町 三尾 葉
- 万緑や道なき道に風化佛 中津川市付知町 伊藤 貞子
- 雲の峰秘境に残る流刑小屋 春日井市 東久保美智子
- 舫ひ舟ゆったり揺れる春の湖 惠那市東野 内木伊都子
- 稚児の列ひとつばたごの花浴びて 惠那市長島町 安田 喜子
- 存へて認知検査や暑き風 惠那市明智町 中島 敏子
- 病む義姉の笑みは変わらずカーネーション 中津川市付知町 早川美代子
- 子つばめの巣立見送る朝の軒 惠那市笠置町 山本とき子

平成30年度 第61回恵那市文化祭開催予定

大会名	開催予定日	開催場所
☆山野草展	10/6(土)~7(日)	市民会館
☆俳句大会 (公募)	10/6(土)	恵那文化センター集会室
☆囲碁大会	10/7(日)	恵那文化センター集会室
☆将棋大会	10/8(月・祝)	恵那文化センター和室
☆短歌大会 (公募)	10/8(月・祝)	恵那文化センター集会室
☆美術展 (公募)	10/27(土)~11/3(土・祝)	恵那文化センター展示室ほか
☆芸能部ステージ発表	10/28(日)	恵那文化センター大ホール
☆高齢者作品展	11/9(金)~11(日)	市民会館
☆華道展	11/10(土)~11(日)	恵那文化センター展示室ほか
☆市民茶会	11/11(日)	恵那文化センター展示室ほか
☆御詠歌大会	未定	恵那文化センター集会室
☆合唱フェスティバル	12/2(日)	恵那文化センター大ホール

平成30年度の開催予定です。変更する場合もございます予めご了承ください。

平成29年度 恵那文化劇場

恵那文化劇場は恵那文化センターで5事業、明智かえでホールで1事業を開催いたしました。
実績6事業10公演、御来場ありがとうございました。

開催日	公演名	公演回数	開催場所
6/23(金)	三遊亭好楽・林家三平落語会	1回	恵那文化センター
7/25(火)~30(日)	金澤翔子揮毫・金澤泰子講演会	6日間	恵那文化センター
11/12(日)	音楽の絵本	1回	明智かえでホール
11/26(日)	フォレスト	1回	恵那文化センター
11/30(木)~12/1(金)	小学生芸術鑑賞会「ストリングラフィー」	4回	恵那文化センター
12/9(土)	ドリーミング	1回	恵那文化センター

平成29年度 恵那市文化振興会講演会

開催日	公演名	公演回数	開催場所
12/5(火)	山本昌講演会「継続する心」	1回	恵那文化センター



三遊亭好楽・林家三平落語会



金澤翔子揮毫・展示



音楽の絵本



山本昌



ドリーミング

創作音楽劇

公演日：平成30年12月16日(日)
 場所：恵那文化センター大ホール
 演目：○椿屋敷
 ○蛇に嫁いだ娘
 開演：午後1時30分
 企画・運営：恵那音楽劇の会
 お問い合わせ先：恵那音楽劇の会事務局 Tel.080-3706-6772 加藤



「再びの恵那第九」

あなたも一緒に第九を歌いませんか。
 合唱に参加して下さる方を募集します。

公演日：平成31年3月3日(日)
 場所：恵那文化センター大ホール
 主催：恵那第九実行委員会 代表 酒井
 応募方法：詳細は「広報えな」5月号に記載

補助金を使って活動しませんか！

市民主体の舞台発表を支援します。

(恵那市民協働型文化芸術ふれあい事業)

公益財団法人 恵那市文化振興会では、平成二十三年度より恵那市民協働型ふれあい事業を新しく実施しています。

当事業は、複数の市民で構成する団体が、自ら手づくりによる文化芸術等の成果発表を通して、文化振興に寄与する活動に対し、市民等活動団体と文化振興会が一体となり協働により事業を実施するものです。

市民三学運動の精神による豊かな心の育成と学び続ける風土を育み、地域固有の優れた文化芸術に接する機会を創出し、市民の文化意識の高揚と協働意識の醸成を図ること。合わせて恵那文化会館の利用促進を狙いとしています。

当事業は希望団体から認定申請を受け、審査により実施が決定され、ステージ発表までの取組みに対し、規定の範囲内で経費の一部を助成します。

●募集事業

地域社会の文化芸術の向上に寄与し、文化振興会（公共的団体）と市民等活動団体が対等のパートナーとして協力し合って文化振興に寄与する事業で、先進性、独創性、発展性、または波及性をもったもの。

●募集団体等

応募団体は組織の構成員がおおむね15名以上で、原則20歳以上の者で構成され、その過半数以上が市内に居住し、在勤し、または在学している者で構成する団体であること。

また、次の各号のいずれにも該当するものであること。

- (1) 主たる活動の場及び組織母体が市内にあること。
- (2) 公益財団法人恵那市文化振興会の会員であること（要加入）。
- (3) 政治、宗教又は営利を目的とした団体でないこと。
- (4) 対象年度において、恵那市及び恵那市の公的団体から同一目的の補助金等を受けていないこと。
- (5) 事業認定を受けようとする事業の内容が、青少年育成上問題があるもの、または公序良俗に反するものでないこと。
- (6) 事業認定を受けようとする事業の内容が、特定の政治及び宗教又は営利を目的としたものでないこと。

●募集要件

応募の要件は、次のとおりとする。

邦楽、能楽、日本舞踊、歌劇、新劇、創作劇など様々なジャンルに係る市民参加型、体験型及び鑑賞型の文化芸術に関する成果発表を目的に、協働の精神を育成できる機運があり、市民が主体的に参画する活動組織であって、且つ適正な補助金の取り扱いが可能な団体であること。

実施期間は、平成31年3月31日までの単年度事業とする。

●使用会場及び集客

当該事業のために使用する会場は、恵那文化会館又は明智かえでホールとする。

一般入場者の確保は、最大施設収容人員の70%以上を目標とし周知を行うものとする。

●補助金の額

平成30年度において補助金の額は、予算の範囲内で補助対象事業費の三分の一以内の額とし、一事業につき105万円を限度とする。

恵那市伝統文化育成事業補助金を受付ます。

公益財団法人恵那市文化振興会では、歌舞伎、文楽、獅子舞、雅楽、和太鼓など市内の貴重な伝統保存文化を保存伝承する活動や、伝統保存文化に関わる各団体を取りまとめ運営する活動に対して活動の支援と必要な経費の一部を補助する事業を実施しております。

平成30年度において次の補助対象となる活動を行う団体等を募集しますので申請を希望される場合は補助要領により申請書を提出してください。

●補助対象となる活動

- (1) 地域の伝統保存文化を伝承保存する活動。
- (2) 地域の伝統保存文化を市内の行事等において実演又は披露する活動。
- (3) その他、地域の伝統保存文化に寄与する活動。

●補助対象となる団体等

- (1) 恵那市文化振興会の会員になること。
- (2) 活動の場所及び組織母体が市内にあり、恵那市文化振興会が主催する事業に参加できる団体であること。
- (3) 対象年度において、恵那市及び恵那市の公的団体から同一目的の補助金等を受けていないこと。
- (4) 補助認定を受けようとする活動の内容が、青少年育成上問題があるもの、又は公序良俗に反するものでないこと。
- (5) 補助認定を受けようとする活動の内容が、特定の政治及び宗教又は営利を目的としたものでないこと。

●補助金の額

平成30年度において補助金の額は、予算の範囲内で原則一事業につき50万円を限度として、額は選考委員会にて決定します。

●補助対象事業の決定

補助対象事業の決定申請を受付けた活動や団体等については、選考委員会において審査を行い、補助対象事業を決定します。

●申請書類 申請書類は当振興会にあります。

●その他 補助対象経費及び補助対象外経費の区分や申請方法、審査等詳細について規定がありますのでお気軽にご相談、お問い合わせ下さい。

●本年度の申請期限 平成30年7月31日（火）必着

●提出先 (公財) 恵那市文化振興会

●問い合わせ先 (公財) 恵那市文化振興会 TEL: 0573-26-3524 担当 安藤